

令和4年度教育課程研究集会

小学校 家庭科

家庭科の指導における 「主体的・対話的で深い学び」の 実現に向けた授業改善について

令和4年8月

奈良県教育委員会事務局

学ぶ力はぐくみ課 義務教育指導係

指導主事 岡寄 仁美

本日の流れ

1. 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた
授業改善について

2. 実践発表

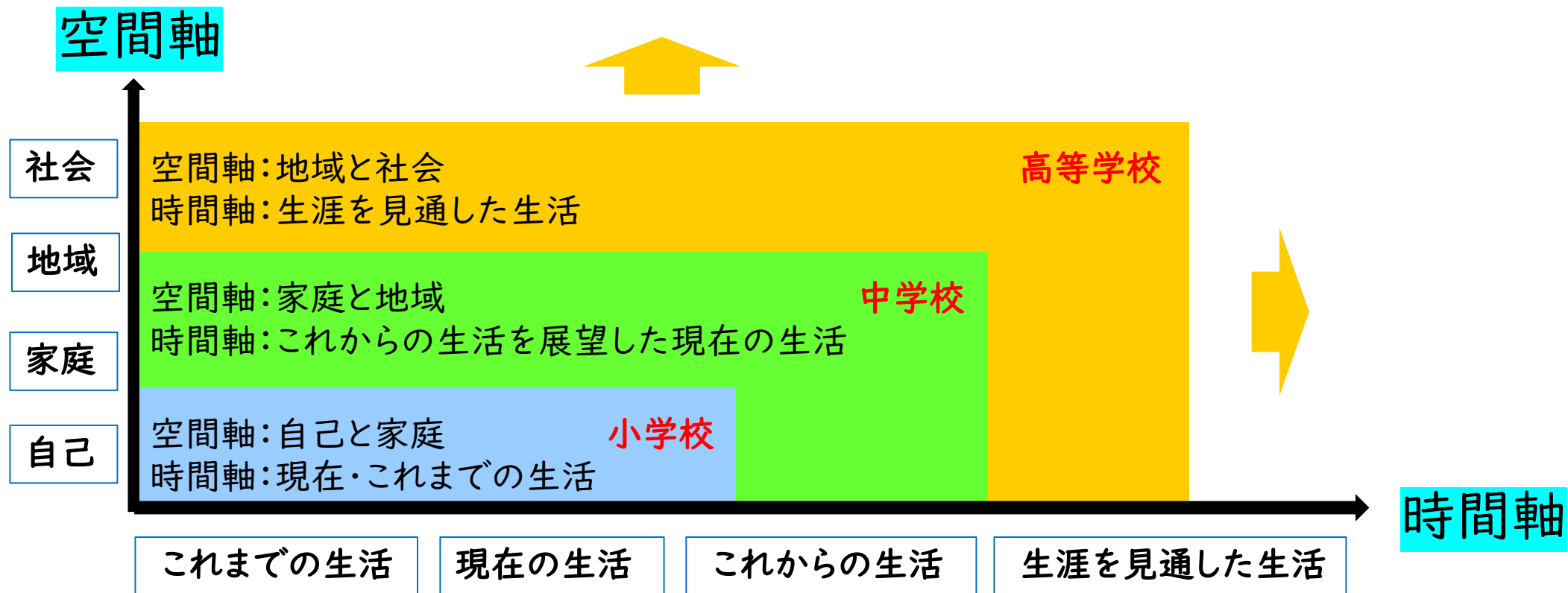
奈良市立東登美ヶ丘小学校 森田 由加先生

3. まとめ

現行の学習指導要領

- ・小学校は令和2年度から 全面実施
- ・中学校は令和3年度から 全面実施
- ・高等学校は令和4年度から 年次進行で実施

空間軸・時間軸の視点からの学習対象の明確化

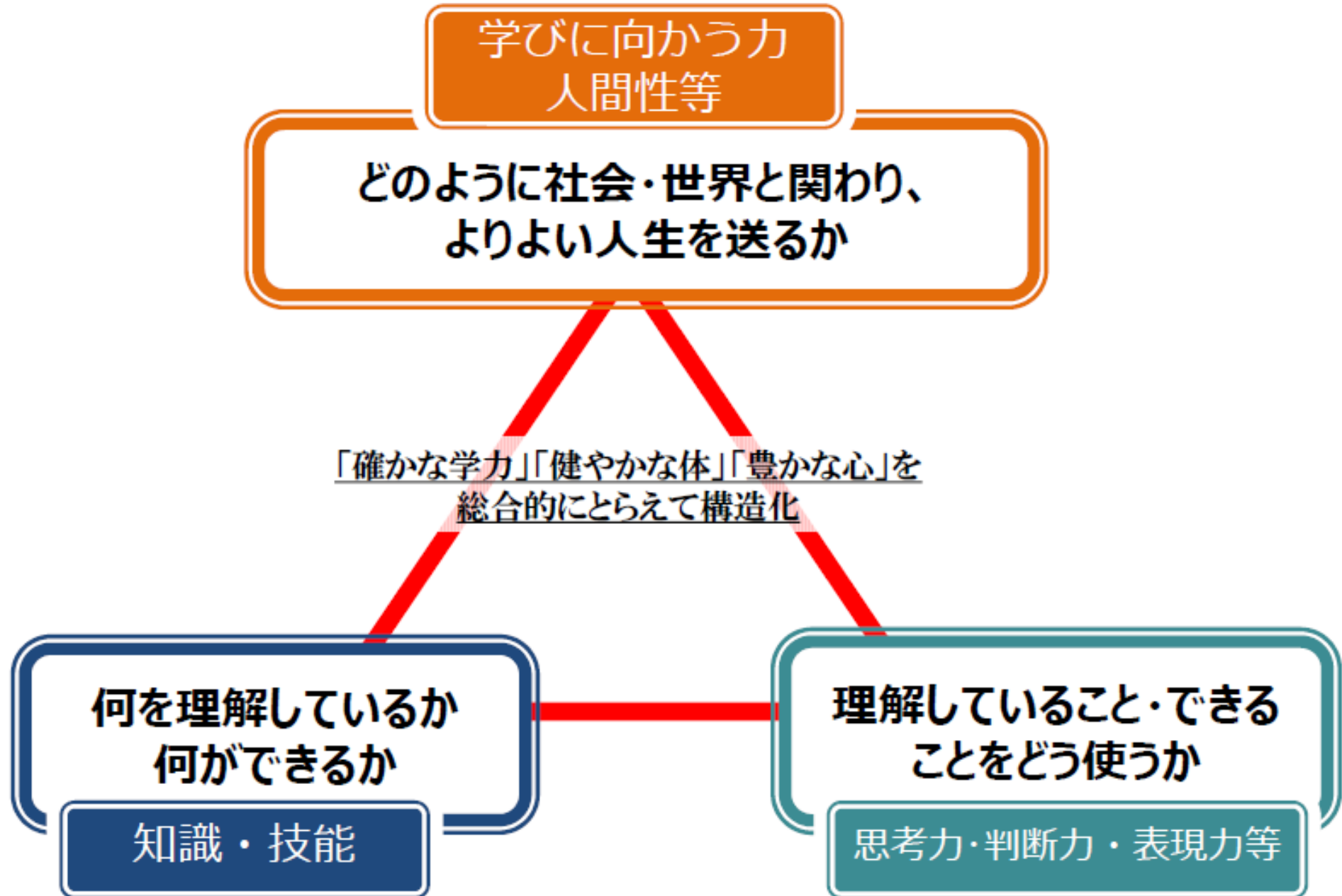


- 空間軸の視点：主に**自己と家庭**
- 時間軸の視点：主に**現在及びこれまでの生活**

学習指導要領の

「着実な実施」から

「よりよい実施」を目指して



学習指導要領改訂の考え方

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた 教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の
新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

主体的な学び
対話的な学び
深い学び

※高校教育については、些末な事実に基づく知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

「主体的・対話的で深い学び」について

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けるようにすること

【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。

【例】

- 学ぶことに興味や関心を持ち、毎時間、見通しを持って粘り強く取り組むとともに、自らの学習をまとめ振り返り、次の学習につなげる
- 「キャリア・パスポート（仮称）」などを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりする



主体的な学び
対話的な学び

深い学び

【対話的な学び】

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。

【例】

- 実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実社会の人々の話を聞いたりすることで自らの考えを広げる
- あらかじめ個人で考えたことを、意見交換したり、議論したり、することで新たな考え方に気が付いたり、自分の考えをより妥当なものとしたりする
- 子供同士の対話に加え、子供と教員、子供と地域の人、本を通して本の作者などとの対話を図る



【深い学び】

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているか。

【例】

- 事象の中から自ら問いを見だし、課題の追究、課題の解決を行う探究の過程に取り組む
- 精査した情報を基に自分の考えを形成したり、目的や場面、状況等に応じて伝え合ったり、考えを伝え合うことを通じて集団としての考えを形成したりしていく
- 感性を働かせて、思いや考えを基に、豊かに意味や価値を創造していく

学びを人生や社会に
生かそうとする
学びに向かう力・
人間性等の涵養

生きて働く
知識・技能の
習得

未知の状況にも
対応できる
思考力・判断力・表現力
等の育成



どんな授業にしていくの？

見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付くように

授業改善の視点

どうしたら、見通しをもって作業したり、粘り強く考えたり、日常生活の課題の発見や解決に取り組んだりすることができるだろうか。

「主体的な学び」の視点

どんな授業にしていくの？

自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

授業改善の視点

どうしたら、実際の生活と結び付け、次に生かせる気付きに導くことができるだろうか。

「主体的な学び」の視点

どんな授業にしていくの？

周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に

授業改善の視点

どうしたら、グループ間の議論を深め、様々な視点で考えを深めさせられるだろうか。

「対話的な学び」の視点

どんな授業にしていくの？

一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業に

授業改善の視点

どうしたら、知識をつなげ深く理解したり、考えを形成したり、家庭や地域で実践したりできるだろうか。

「深い学び」の視点

実践発表

奈良市立東登美ヶ丘小学校

森田 由加先生

東登美ヶ丘小学校 森田先生の実践発表より

- ・学習目標
- ・学習内容
- ・学習方法

- ・興味や関心を高める
- ・自分と結びつける
- ・振り返って次へつなげる

- ・多様な情報を収集する
- ・互いの考えを比較する
- ・協働して課題解決する

- ・思考して問い続ける
- ・知識・技能を活用する
- ・自分の考えを形成する

授業改善に向けた 『学習者』の視点

授業改善に向けた 『授業者』の視点

主体的な学び

- ・学ぶことに興味や関心をもつ
- ・自己のキャリア形成の方向性に関連付ける
- ・見通しをもつ
- ・粘り強く取り組む
- ・自己の学習活動を振り返って次につなげる

- ・既習事項を振り返る
- ・具体物を提示して引きつける
- ・児童が明らかにしたくなる学習課題を設定する
- ・児童が自らめあてをつかむようにする
- ・学習課題を解決する方向性について見通しをもたせる
- ・児童が自分の考えをもつようにする
- ・その日の学びを振り返る
- ・新たな学びに目を向けさせる

授業改善に向けた 『学習者』の視点

授業改善に向けた 『授業者』の視点

対話的 な学び

- ・児童同士の協働を通じ、自己の考えを広げ深める
- ・教職員との対話を通じ、自己の考えを広げ深める
- ・地域の人との対話を通じ、自己の考えを広げ深める
- ・先哲の考え方を手掛かりに考える

- ・思考を交流させる
- ・交流を通じて思考を広げる
- ・協働して問題解決する
- ・板書や発問で教師が児童の学びを引き出す

授業改善に向けた 『学習者』の視点

授業改善に向けた 『授業者』の視点

深い
学び

- ・よりよい生活をするための「見方・考え方」を働かせる
- ・知識を相互に関連付けてより深く理解する
- ・情報を精査して考えを形成する
- ・問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

- ・資質・能力を焦点化する
(つけたい力を明確にする)
- ・単元や各授業の目標を把握する
- ・ねらいを達成した児童の姿を具体化する
- ・教材の価値を把握する
- ・単元及び各時間の計画を立てる
- ・目標の達成状況を評価する

